

1975→2026

51

非核「神戸方式」決議 周年記念のつどい



半田 滋さん

(防衛ジャーナリスト・元東京新聞論説兼編集委員)

記念
講演

「敵基地攻撃と日米一体化 —防衛費倍増は国民負担に—」

核兵器禁止条約が発効して5年—

神戸港に入港する外国艦艇に非核証明書の提出を義務づける非核「神戸方式」は、核兵器の存否を明らかにしない米艦の入港を50年にわたり拒み続けました。しかし、被爆80年・非核「神戸方式」50年の2025年、神戸市は、非核証明書の提出がないまま、米艦の入港を認めてしまいました。高市政権のもとで、莫大な軍事費を注入して「敵基地攻撃能力」を保有する軍備増強を進め、日米一体の戦争態勢が強化されています。高市政権のもとで、非核三原則の見直し、非核「神戸方式」つぶしの動きが一層強まることが想定されます。核兵器禁止条約の調印・批准国が次々と増えており、世界は核兵器廃絶への流れを強めています。51周年を迎える非核「神戸方式」の重要さも一層大きなものになっています。「敵基地攻撃と日米一体化」の動きをしっかり受けとめ、日本、北東アジアの平和のあり方をご一緒に考えましょう。

2026年 3/22【日】

13時半開会 (13時開場)

【会場】神戸駅前研修センター

(TEL.078-232-0081)

資料代:1,000円

オンラインZoomでも配信します。ご希望の方はEメールアドレスを添えて申し込んでください。Zoomウェビナー参加URL、ID、パスワードを事前に届けます。



主催／非核「神戸方式」決議記念集会実行委員会 協賛／非核の政府を求める兵庫の会

(事務局団体) 神戸港湾共闘会議、新日本婦人の会兵庫県本部、兵庫県原水協 (神戸市中央区古湊通 2-2-10) 【TEL】 078-341-2818 【FAX】 078-371-2427 【Eメール】 hikakukobe@yahoo.co.jp